



2026 年度学位授与式を開催！105 名に学位を授与

日越大学は 7 月 18 日、ベトナム国家大学ハノイ校の Nguyễn Văn Đạo 講堂で、2026 年学位授与式を開催しました。今年は学士 65 名、修士 40 名、合わせて 105 名が学位を取得し、式典には在ベトナム日本国大使館、JICA、JETRO、日越両国の大学・企業関係者、教職員、家族、在学生らが出席しました。Nguyễn Hoàng Oanh 学長にとっては、学長就任後初めて主催する卒業式でもありました。

学位を取得した卒業生たちは、日越大学での学びを終え、ベトナムや日本の企業への就職、あるいは進学など、それぞれの道を歩み始めます。Oanh 学長は、卒業式を学びの終点ではなく、新たな学習や仕事、社会貢献に向かう出発点と位置づけ、卒業後も日越大学が卒業生を支え続けていくと語りました。創立から 10 年余りを経て新たな発展段階を迎えた日越大学にとっても、今回の学位授与式は、これまでの教育の成果を確認するとともに、卒業生との新たな関係を築く節目となりました。

今月号の内容

- 2026 年度学位授与式を開催！105 名に学位を授与
- 学部コンピュータサイエンス&エンジニアリングプログラム (BCSE) 首席卒業生 Bùi Khánh Linh さん、研究と学びの成果を語る
- 自由民主党代表団が日越大学を訪問
- 修士課程グローバル・リーダーシッププログラム修了生代表 Nguyễn Nguyệt Linh さん「自分を信じて」後輩へメッセージ
- 日越大学・早稲田大学の学部ダブルディグリープログラム
- 学部インテリジェント制御とオートメーションプログラムの 1 年生が日系企業の先端製造現場を訪問
- 第 2 回ベトナム・日本半導体シンポジウム、発表者の募集を開始！
- 浜松西高校の生徒が日越大学生と交流

▶学部コンピュータサイエンス&エンジニアリングプログラム（BCSE） 首席卒業生 Bùi Khánh Linh さん、研究と学びの成果を語る

日越大学 学部コンピュータサイエンス&エンジニアリングプログラム（BCSE）で、Bùi Khánh Linh さんが 2026 年の首席卒業生となりました。Linh さんは数少ない早期卒業生の一人でもあります。在学中には、振動周波数と果皮の色からドリアンの熟度を測定する研究を主導し、日越大学の学生研究発表会で 2 位、ベトナム国家大学ハノイ校の学生研究発表会では優秀ポスター賞を受賞しました。Linh さんが本格的に研究に取り組み始めたのは 2024 年のことで、これが初めての本格的な研究挑戦だったといいます。教員や仲間と知識や経験を分かち合いながら研究を進め、卒業研究の発表に加え、日本企業でのインターンシップも経験しました。

4 年間の日越大学での学びを振り返り、Linh さんは、充実した設備や日本語の書籍がそろった図書館、教材、そして親身な教職員に支えられたと話しています。首席という結果だけでなく、研究や実習、仲間との協働を通じて成長を遂げた Linh さんの姿は、日越大学が専門知識と実践力の双方を育む教育を行っていることを示しています。



Bùi Khánh Linh さん (左)

▶自由民主党代表団が日越大学を訪問

日越大学は 7 月 22 日、ベトナムを訪問中の自由民主党代表団を Hòa Lạc キャンパスに迎えました。訪問団は萩生田光一自民党幹事長代行を団長とし、河野太郎国際局長、小泉龍司国際局長代理ら自民党関係者で構成され、意見交換には伊藤直樹駐ベトナム日本国大使や JICA ベトナム事務所の小林洋輔所長も参加しました。今回の訪問では、日越大学のこれまでの歩みと今後の発展方針が紹介され、教育、科学技術、高度人材育成における日越協力について意見が交わされました。代表団からは特に、半導体や人工知能分野の人材育成、国際学生の受け入れ、Hòa Lạc における教育・研究環境について高い関心が寄せられました。

日越大学は 2025 年、日本の大学基準協会（JUAA）による国際質保証認証 iJAS をベトナムで初めて取得しており、現在は約 2,000 人の学生が学んでいます。今後も日本の大学や企業との連携を広げ、先端分野における教育研究拠点としてさらなる発展が期待されます。



自由民主党代表団との集合写真

▶ 修士課程グローバル・リーダーシッププログラム修了生代表 Nguyễn Nguyệt Linh さん「自分を信じて」後輩へメッセージ

日越大学の修士課程グローバル・リーダーシッププログラム（MGL）で学んだ Nguyễn Nguyệt Linh さんが、7月18日に開かれた2026年学位授与式で、修了生を代表してスピーチを行いました。入学時から成績優秀だった Linh さんですが、学術の道を進んでいけるのか自信を持てず、迷いを感じることもあったといいます。それでも2年間の学びを経て、プログラム全体で最も優れた成績を収め、修了生代表という形でその歩みを締めくくることになりました。

日越大学で得たのは、専門知識だけではありません。ベトナムと日本、両国の教員から指導を受け、多様な仲間とともに学ぶ中で、研究を現実の課題や社会への貢献へとつなげて考える姿勢を身につけたといいます。Linh さんは、学生一人ひとりが尊重され、それぞれのやり方で成長を後押ししてもらえる、国際色豊かで専門性の高い環境だったと振り返ります。

スピーチの中で Linh さんは、後輩となる修了生たちに向けて、自分自身を信じ、選んだ道を歩みながら学び続けてほしいと呼びかけました。日越大学で培った知識と経験を糧に、Linh さん自身もこれから、研究と持続可能な発展に向けた新たな一歩を踏み出します。



Nguyễn Nguyệt Linh さん

▶ 日越大学・早稲田大学の学部ダブルディグリープログラム

日越大学の学部日本学プログラムでは、早稲田大学で学びながら二つの学位取得を目指す「日越大学×早稲田大学学部ダブルディグリープログラム」を実施しています。早稲田大学では、学生が自ら資料を読み、意見を形成し、授業で積極的に議論することが重視されています。参加中の学生たちは、「日越大学で身につけた日本語と日本文化への理解を土台に、批判的思考と発信力を早稲田大学で伸ばすことができる。国際的な環境でさまざまな背景を持つ学生とともに学び、日本での経験を重ねる中で、異なる意見を尊重し、自ら行動する力を培うことができる。」と述べています。

同プログラムでは、早稲田大学で社会科学を英語で学び、所定の要件を満たせば、日越大学の日本学の学士号と早稲田大学の社会科学の学士号を取得できます。学費は国内学生と同等に抑えられており、海外で学ぶという選択肢を、より現実的なものになっています。

学部インテリジェント制御とオートメーションプログラムの1年生が 日本企業の先端製造現場を訪問

日越大学の学部インテリジェント制御とオートメーションプログラム（BICA）の1年生は7月15日、NOKグループに属する Mektec Manufacturing Vietnam 社を訪問しました。同社は2016年に Thăng Long II 工業団地（Hưng Yên 省）で設立され、世界の大手テクノロジー企業向けにフレキシブル基板（FPC）を製造しています。学生たちは、企業の成り立ちや生産活動、今後の事業展開、人材需要について説明を受けました。

工場では生産ラインや設備の運用を見学し、日本企業の職場環境を具体的に学びました。訪問の最後には、事前に準備した質問をもとに、Mektec の担当者と技術、製造工程、将来の職業について意見を交わしました。

BICA の Đỗ Mạnh Dũng 講師は、学生たちが専門的な質問を準備し、教室で学んだ知識を実際の生産現場と結びつけて考えていた点を評価しています。入学後早い段階から企業や技術に触れるこうした学びは、学生が将来の仕事を具体的に描き、必要な知識や技能を考えるきっかけとなっています。



第2回ベトナム・日本半導体シンポジウム、発表者の募集を開始！

日越大学と在日ベトナム知識人協会（AVIJ）は、2026年9月20日から23日まで、ハノイで第2回ベトナム・日本半導体シンポジウム（VJSS-2026）を開催します。在日本ベトナム社会主義共和国大使館の後援のもと、半導体分野の研究者、大学関係者、企業の専門家、学生、政策担当者らが集まり、半導体の科学技術、教育、人材育成、産業に関する知見を共有します。

現在、シンポジウムでの発表者を募集しています。研究者や企業関係者はもちろん、大学院生や若手研究者からの応募も歓迎されています。日越大学は、ベトナムと日本の研究者・企業・学生を結び、半導体人材育成と産学連携を促進する場として本シンポジウムを開催します。関心のある方はぜひご注目ください。

- VJSS-2026: <https://vjss2026.vju.ac.vn/>

▶ 浜松西高校の生徒が日越大学生と交流

7月21日、浜松西高校海外フィールドスタディの一環として静岡県立浜松西高校の教員と生徒が日越大学を訪問しました。日越大学からは、学部日本学プログラム（BJS）と学部コンピュータサイエンス&エンジニアリングプログラム（BCSE）の学生が、大学の学習環境や学生生活について紹介しました。浜松西高校の生徒たちも、英語と日本語で学校や静岡県での暮らしを紹介し、両国の学生・生徒は文化、趣味、日常生活について活発に語り合いました。交流後にはMỹ Đình キャンパスを見学し、学習・研究・学生生活の環境を知る機会も設けられました。

日越大学は、異なる文化への理解を深める学びの場であるだけでなく、ベトナムと日本をつなぐ知識と文化の架け橋として、その役割を実践する場ともなっています。こうした交流の積み重ねを通じて、日越大学は両国の教育協力に貢献します。



交流の様子

■ 日越大学の情報発信

日越大学ホームページ

<https://vju.ac.vn/>

日越大学 Facebook

<https://www.facebook.com/vnu.vju/>

JICA プロジェクトページ（ODA 見える化サイト、メルマガのバックナンバーもこちらから）

<https://www.jica.go.jp/oda/project/1901195/index.html>

■ 産学連携・採用に関する問い合わせ

E-mail: cooperation@vju.ac.vn

■ メルマガに関するお問い合わせ

E-mail: mail.magazine@vju.ac.vn

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト メルマガ編集部

【メール配信停止・変更】

配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、上記問い合わせ先までメールにてご連絡ください。

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト